

発行 下諏訪町教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
E-mail=syougai@town.
shimosuwa.lg.jp

観光ガイドで心のおもてなし



桜町 笠原 みよ子

何年前、郷土史を勉強して、下諏訪町にこういう歴史がある」と知り、この町に輝くような感動を覚えました。

その頃、声をかけていただき観光ガイドの仲間に入り、現在ではボランティアガイドの他に、観光協会を通して受けた有料ガイドなどでもしております。

最初はどのようにガイドをしたらよいか分からず、手探り状態でした。その時、前に長姉と九州の太宰府市を旅したことを思い出しました。早朝犬を連れ、た年配のご婦人が、私たちに声

をかけてくれました。遠方より訪れたことを知ると、近くの史跡を案内して「今はこうだが、昔はこうだった」などと丁寧に説明してください、思いがけず太宰府のすばらしさを知り、ガイドとして私に何かできるとしたら「これだ!」と思いつきました。

気持ち新たに「こんにちは」「どちらからですか」と、声をかけることができるようになりました。決してすぐに慣れたわけではありませんが、回数を重ねるにつれて、お客様と打ち解けてお話しできるようになりました。どうしたらお客様に

満足していただけるようなご案内ができるかと、内容を深める勉強もしました。今では、「ありがとう」「わかりやすかった」等の言葉を残していただけのようになり、熱心に聞いてくださるお客様と視線が合つて、頷いてくださる時は、本当にガイドが楽しく感じられます。それが、今の私を支えてくれています。質問にも、自然や歴史、文化の知識や私の乏しい経験をフル回転させてお答えします。下諏訪町の素晴らしさを一つでも心にとどめてお帰りいただけるようにと。せっかく下諏訪町を訪れた方々に、町の印象を少しでも心に刻んでいただけたらと願って、おもてなしの心で一生懸命やっております。

あの太宰府のご婦人が、私のガイドの原点です。私たち観光ガイドの「心のおもてなし」が、町の観光に、まちづくりに、そ



春宮をガイドする

して下諏訪町の発展に少しでもお役に立てたらと思います。これをお読みになった方、一緒にガイドをしてみませんか。更に小中学生の皆様にも、下諏訪町の素晴らしさを知っていただきたいと願っています。将来ガイドの担い手になってくださったらと、夢を描きながら…。連絡先 28-15919

私たちのまちづくり ~分館活動による地域の活性化~

歌を通して

楽しい近隣づきあいを



湯田町 高木 光富

二区分館事業として、何か合唱でもやってほしいとの話がありました。急には難しいので、文化庁が策定した「日本の歌百選」をベースにして、その曲にまつわる思い出をBGMにのせて、ナレーションを入れその後みんなで歌うようにしました。

また伴奏は、パソコンにより作成し、参加者の年齢を考慮して、音の高さ、テンポを毎回調整しました。会場はどなたでも参加しやすいように、区内四公会所(平和館・城の腰館・青塚館・東明館)を移動して開催し、高齢の方でも近くの会場に参加いただけるように考えました。全百一曲を年間四回に分け、毎回二十五曲の童謡唱歌・歌謡曲・

懐かしい抒情曲等を歌っています。毎回二区分館報でお知らせしていただいておりますが、事前に参加希望を募っていないため、「今回は、何人集まっても来ないか」と非常に不安です。お陰様で、初回以来この八月開催で、五年目通算十八回目を迎え、参加者も毎回三十から四十人を数

す。懐かしい抒情曲等を歌っています。毎回二区分館報でお知らせしていただいておりますが、事前に参加希望を募っていないため、「今回は、何人集まっても来ないか」と非常に不安です。お陰様で、初回以来この八月開催で、五年目通算十八回目を迎え、参加者も毎回三十から四十人を数



それぞれの想いを込めて歌う



音響担当の熊谷一正さん

えます。年末には「歌で迎えるミニクリスマス」を行い、特製スイーツも堪能しています。この会は、各会場にピアノ等が無い場合、作成した伴奏音源を忠実に再生してもらおう音響担当を熊谷一正さんをお願いし、音響設備一式を毎回設置し、伴奏・BGM音源をタイミングよく再生をお願いしています。

もう一人この催しになくてはならない人が、ナレーターをお願いしている有賀せつ子さんです。全体の進行と伴奏の作成を高木が担当し、歌詞カードにもこの曲、曲をより盛り上げるため、イラストや写真を挿入しています。時には外部から、ギターやアコーディオン奏者を迎えて、一緒に楽しく歌っています。皆さんから、歌にまつわるエピソードや思い出の曲を常時募集しています。

地域の皆さんと歌う

立町 有賀 せつ子



高木さんより声をかけていただき、ナレーションを担当しています。最初はどうなるのか不安でした。文章は毎回高木さんが準備してください読んでいます。

初回から多くの皆さんに参加いただいたりしています。参加者はいつやるの?と声をかけていただき、「楽しみにしてくれているんだな」と嬉しくなります。参加している方には歌への想いや思い出があり、大きな声や小さな声、涙声と様々に、楽しそうに歌っています。音痴な私もいつの間にか、皆と一緒に声を出しています。